

令和2年1月4日  
レポーター:石黒廣行

1. 日付 令和元年10月27日～29日
2. 訪問地 紅葉の名所「鳴子峡と銀山温泉街」を訪ねて
3. 目的

今年の紅葉は、夏以降の天気が不順で雨が多くて、何処に出かけても綺麗な紅葉に出会えませんでした。少し時期を遅らせて元の会社の仲間と東北に出かけて見ました。場所は紅葉で有名な「鳴子峡」の見学と、木造の三層四層の旅館が軒を連ねる温泉街の「銀山温泉」の散策を楽しむ旅となりました。銀山温泉は銀山川の奥地で延沢銀山が発見され、その開発の際に出湯した。1634年には江戸幕府の御公儀山として、銀山には1万5千人の関係者が生活していたと推定されていました。NHKのテレビ小説の「おしん」の舞台になった事で有名になりました。



銀山温泉の入り口、ここから川の両側に温泉街が続いている。雪のふる冬の季節に来てみたい。



銀山川を挟んで兩岸に位置する町並みは大正時代から昭和の初期の建物が立ち並ぶ



温泉街の最奥の所にある「白銀の滝」



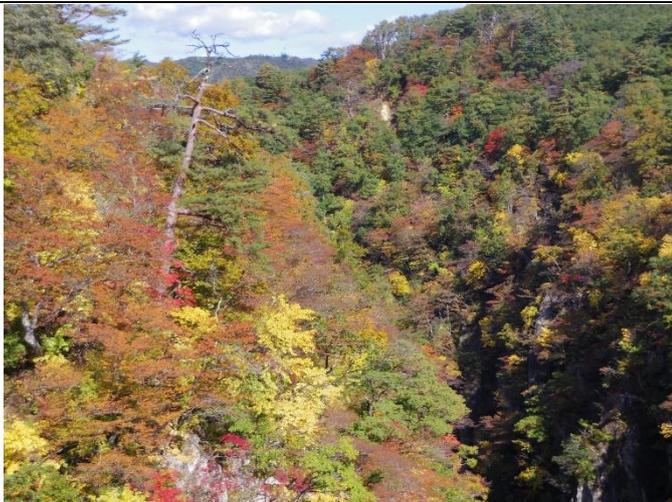
温泉街の四層の木造造りの旅館、夕方にガス灯に火が入ると一段と大正ロマンを感じる



鳴子レストハウスの展望台から大深沢橋を望む



大深沢橋から鳴子レストハウスの展望台を望む



鳴子峡の紅葉は素晴らしかった。



大深沢の橋には電車が通る時間を撮る為に大勢の人がいたが、運よく電車が通り、写真を撮ることが出来てラッキーでした。

★行楽地は皆様の来訪を待っています、皆さんお出かけレポートをお願いします。